

事業目的： 糖尿病性腎症による新規透析導入患者数の減少【健康ちば21 目標：令和4年 738人 現状：H29年（870人） H30年（800人） R元年（792人） R2年（818人）】

	重点取組	平成29年度から令和3年度の取組概要	成果及び今後の課題	R4年度～の取組方針	R4年度～の取組
1	プログラムの策定・周知 医療機関、市町村、保険者への通知・説明 県民向け普及啓発	平成29年12月プログラム策定 ①通知、会議等で説明（医師会、9医療圏会議、市町村） ②医師向け研修（県医師会・22地区医師会）、市町村等研修 ③医師会報掲載 ⇒令和3年3月プログラム改定 ④各団体の講演会や会報誌、事業所向けメルマガ等で発信 ⑤ホームページによる情報発信	・プログラムの改定の周知 県から保険者、医師会・関係団体等へ通知 各団体において改定および改定内容を報告・周知		会議、研修会等の、あらゆる機会を活用し周知。 ①②③④ 全ての関係機関（継続） ⑤ホームページの内容充実
2	市町村国保の取組推進・充実 特定健診受診率向上 保健指導の実施 受診勧奨の実施	①国保保険者努力支援制度における評価指標及び取組状況 *評価指標の見直し ②市町村及び43医療保険者取組状況調査（H30～） ③国保連：KDB外付システム改修・市町村向け研修・巡回指導	・取組市町村数の増加（括弧内は市町村数） 【保険者努力支援制度達成市町村数】 H28(24)、H29(30)、H30(45)、R元(53)、R2(54)、R3(54) 【糖尿病性腎症重症化予防プログラム取組状況調査】 フロー1 健診からの抽出 R元(52)、R2(52)、R3(52) フロー2 未治療者・治療中断者抽出 R元(22)、R2(24)、R3(30) フロー3 主治医からの紹介 R元(17)、R2(18)、R3(17) フロー4 CKDハイリスク者の抽出（健診からの抽出） R2(17)、R3(22) 未治療者・治療中断者からの対象者抽出の取組を推進	保険者がハイリスク者を抽出し、適切に受診勧奨及び保健指導を実施する。	①②ヒアリングと取組状況調査による把握（継続） ③国保連と連携しKDBシステムを活用した取組支援（継続）
		④かかりつけ医用指導ツール（受診率向上、検査実施、紹介基準掲載）の作成・配付 ⇒R2.11月、県内の全病院・診療所へ配付 ⑤保健指導従事者研修会の開催（講師：糖尿病専門医・病院栄養士・糖尿病看護認定看護師・市町村等実践報告） ⑥重症化リスクの高い者への啓発ツール「ハンドブック」作成 ⇒R3.2月改訂版作成、市町村及び43医療保険者へ配付	・特定健診受診率（国保）が低い H28(39.2%)、H29(40.1%)、H30(40.7%)、R1(40.9%) ・かかりつけ医における適切な指導・対応が必要（かかりつけ医用指導ツールの活用） 治療中の者の健診未受診者が多い ・保健指導のスキル向上、疾患理解や具体的な栄養指導の研修希望が高い		④かかりつけ医用指導ツールの作成・配付・周知（継続） ⑤保健指導従事者研修会（継続） ⑥ハンドブックの作成・配付（継続） →希望に応じて追加配付。
3	かかりつけ医、医師会・関係機関との連携推進 かかりつけ医による対象者の全身管理 糖尿病及び腎専門医への紹介基準の普及	①検査項目に係る検査機関との連携について検討 ②「糖尿病診療のための10+5」作成し、医師会報で周知 ③CDE-Chiba養成・更新研修（糖尿病対策推進会議） ④歯科受診時に治療中断者を受診勧奨（歯科医師会） ⑤CKDシールの作成・配付 ⑥薬局対象の研修会の開催（薬剤師会）	・県内検査機関やCKD対策協力医へ検査項目について依頼 ・糖尿病性腎症ハイリスク者の受診勧奨先医療機関での指導 受診勧奨しても経過観察を含む定期的検査・治療につながらない。市町村によっては、登録医・協力医等の名称で受診勧奨先の名簿登録を実施。登録要件は様々（研修等受講、地区医師会の推薦など） ・歯科受診時の治療中断者への受診勧奨継続 ・CKDシールの取組の普及 腎専門医・CKD対策協力医、糖尿病対策推進推進会議、薬剤師会主催の研修を受講した薬局で貼付	治療継続・重症化予防のため、糖尿病/CKD診療に係る連携体制を構築する。	①検査項目に係る検査機関との連携について検討（継続） ②③ 医師会、糖尿病対策推進会議において実施 ④ 歯科医師会において実施 ⑤CKDシールの活用促進 ⑥薬局対象の研修会の開催（薬剤師会）
CKD重病化予防対策部会					
	CKD対策の当面の取組の方向性を検討	令和3年度特定健診による対象者抽出・受診勧奨実施を目指し、令和2年度に体制整備 ①CKD抽出基準の決定 医師会報掲載 ②CKD対策協力医の養成・登録（県医師会・腎臓専門医） ③CKDシールの作成・配付 ④CKDリーフレットの作成・配付 ⑤千葉県HPへ動画・Q&Aを掲載	・CKD対策協力医の登録促進に向けた周知、効果的な活用に向けた検討が必要 CKD対策協力医の継続的な学習機会の確保 CKD対策協力医と腎専門医の連携 等 ・CKDシールの取組の普及（再掲） ・CKDに関する県民への普及啓発に向けた検討		①CKDハイリスク者の抽出に向けた保険者の取組支援 ②CKD対策協力医の養成・登録の促進及び効果的な活用に向けた検討 ③CKDシールの活用促進（再掲） ④⑤県民への普及啓発